1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 23 年度

事業所番号	2775502525		
法人名	医療法人 幸晴会		
事業所名	第二こうせい苑グループホーム		
所在地	八尾市中田3丁目54番26号		
自己評価作成日	平成 23年 10月 1日	評価結果市町村受理日	平成 23年 12月 16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JGD=2775502525&SGD=320&PCD=27
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 23年 11月 12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人が運営するグループホームであり、理念として「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」それに基づき利用者様に安心して、又安全に毎日を過ごして頂ける様、暖かな環境作りを目指しています。又、家族様にも随時の連絡、伝達を怠らない様心掛けています。そして、職員も笑顔で勤務できる様にそして、国家資格の保持者も多く日々スキルアップの為に法人内部研修にも参加し向上を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域医療に尽力してきた先代の理事長の思いが、事業所の名前に秘められています。法人の方針である医療と介護の連携による複合的なサービスを提供することで、地域での暮らしを支えてきました。開設以来看取りの指針を掲げ24時間365日の支援体制を整え、重度化や終末期を見据えた支援を行い、地域住民から安心と信頼を得ています。職員のケアへの意識は高く、利用者の機能が徐々に低下する中においても、自立支援に向けて見守りながら、できることを引き出しています。また、利用者に寄り添いながら本人の思いを1番大切に、喜怒哀楽が表出できるような関わりをしています。利用者の笑顔が何よりも職員の喜びとなっています。玄関先には、近隣住民の育てた菊の鉢が置かれており、明るく清潔なリビングには、利用者の思い出の作品や写真が飾られています。ホームの中からは利用者、職員の笑い声が響き、共に楽しく生活をしている様子が伝わります。近隣スーパーや花屋、ホーム周辺の散歩、園児やボランティア、民生委員や地域住民の来訪など地域との交流も日常的に行われています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個別ケアによる家庭的な雰囲気の中で豊かな人間環境を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」を理念とし、一人ひとりの利用者様の尊厳を守りながら、その人らしく生活出来る様、又地域との交流にも配慮し、安全に暮らせる様支援行なっている。	地域密着型サービスの意義をふまえて事業所の理念を明文化し、職員が日常的に目につくところに掲示しています。理念は職員間で共有し、利用者同士の繋がりや職員との関係、家庭的で一人ひとりを大切にされたケアの実践へ繋がっています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の理髪店、喫茶店等を利用し日常会話ができ、散歩時も挨拶を交わしたり、又防災訓練時、周辺の家に一軒づつ行事を報告している。又、近隣保育園の園児たちと交流を行い楽しく過ごして頂いている。	開設後から積極的に地域と関ってきました。地域の夏祭りや運動会などの行事、地域住民懇談会へ参加しています。毎日散歩に出かけると近所の方から声をかけてもらい、観賞用の菊の鉢植えや柿をおすそわけに頂くなど、日常的な交流も広がっています。また、法人として市のゲートボール協会の大会や、地域包括支援センターが主催する認知症サポーターの研修への参画など、地域にも貢献しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	地域の方々や入居を希望されるご家族様の介護相談や見学等の問い合わせにも随時対応させて頂いている。又、地域における高齢者様を支える為の住民懇談会等の会合に参加し、色々な情報交換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回、法人内の小規模多機能ホームと一緒に運営推進会議を実施し、利用者様、家族様と共に議題について貴重な意見を聞かせて頂いたり又、苑での取り組みについて理解して頂ける様報告を行い、より良い介護に繋がるよう努めている。</p>	<p>運営推進会議は、規程・規約を作成し、2ヶ月に1回開催しています。市の職員、民生児童委員、利用者家族、高齢者クラブの方、法人内の職員で構成されています。地区福祉委員との交流も広がってきました。運営推進会議では、ホームの現状報告と共に「高齢者と地域の繋がり」「高齢者の食事」などテーマを決めて情報交換や学習会も行われています。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市役所への毎月の空き状況を報告、又窓口にて利用者様の連絡や相談を行っている。そして、運営推進会議に参加して頂き、伝達や情報交換を行い連携を取れるように努めている。</p>	<p>日頃から市との連携を図っています。市の主催するグループホーム事業者連絡会は活発で、事業者間の交流や研修会も行われています。市へ報告するような事故の発生はありませんが、発生した場合の記録や手順等について、体制が整備されています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修により全職員が拘束について把握しており、拘束ベルトも利用者様の状態に応じて外している。又、玄関の施錠は午前中開錠を実施しており、今後も状況を見ながら開錠時間を考慮する。</p>	<p>権利擁護や身体拘束についての勉強会を実施しています。家族が安全のため車いすのベルト着用を希望した場合は、書面で承諾書を得ています。そのうえで、拘束の弊害を説明し、必要以上に抑制をしないよう家族へ働きかけ、段階的にベルト外しに取り組んでいます。前回の外部評価では、ホーム前の交通量が多く、安全面から玄関を施錠していました。現在は、利用者の状況や職員の体制をみながら、午前中開錠しています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修により学び全職員に伝達研修を行い知識を高めている。入浴時やオムツ交換時等にも異変がないか、職員間においても情報交換を行い日々の利用者様の状態を観察し、注意を払っている。些細な事にも見逃さず早期発見に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修により知識を得て必要に応じ早急な対応が出来るように認識を深めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項、契約書を事細かく説明を行い、不安、不満、疑問点が残らないよう納得して頂き利用頂ける様に対応行っている。改定時のご理解頂ける様十分に説明を行うよう心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の面会時や電話等により意見、要望を聞かせていただき話し合い、検討行う。そして、サービスの向上に繋がるようにしている。又、運営推進会議においても色々な話を聞かせて頂き、運営に反映できる様に努めている。常に、コミュニケーションを大切に心がけている。	意見箱は、玄関に設置されています。職員は運営推進会議や納涼会など、家族との交流会の場で要望や意見を出せるように積極的に働きかけています。また、行事には家族の参加を働きかけ、個別に意見や要望を表せる機会を作っています。出された意見は、職員間で話し合い検討しています。家族から薬についての要望があり、医師や看護師などを交えてのカンファレンスの体制を整え対応しました。また、個別の要望に対しても、改善できることは早急に取り組んでいます。利用者の状態に合う車いすの要望が出され、カンファレンスで話し合い、車いすの工夫をした事例があります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議や日常業務において職員の意見、提案を聞けるような雰囲気作りを心がけ、日々のサービスの向上に繋がるように努めている。</p>	<p>ホーム長は、日常の業務に携わっており、職員の状況を把握しやすい立場にいます。法人として実施している「セルフチェックシート」の中に、人事に関する希望調査が盛り込まれています。利用者の入居に関しては、管理者のみで決定するのではなく、職員の意見も反映されています。また、利用者のための支援については、職員のアイデアを取り入れる体制があり、職員の働く意欲の向上に繋がっています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修の機会を多く持ち、職員それぞれが介護の専門職として認識を持ち向上心が図れるよう、又職場環境についても気持ちよく勤務できるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での色々な研修、そして介護福祉士取得の為の研修、又外部研修にも進んで参加できる取り組みを行っている。そして、事業所内において介護技術や学習会を行い、スキルアップを図りよい良い介護ができるように努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市介護保険事業所連絡協議会 施設サービス部会グループホーム分科会に加入し研修や勉強会に参加し情報交換を行ったり、他施設の見学等により交流を深めサービスの向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	最後までじっくりと目線を同じくして傾聴し、受容の姿勢で対応し安心感を持って頂けるように努めている。又、散歩に行き一対一でコミュニケーションを取ったり、会話の中で家族様の事を取り入れることにより、落ち着かれ精神的な安定を図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の不安や要望をしっかりと聞き毎日の生活状況、精神状況を報告し家族様と職員とコミュニケーションを多く取り安全に又、安心して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、家族様とよく話をした上で状態を把握し、カンファレンスを行い「その時」の問題事項、必要事項を見出し、より良いサービスが実施できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護をする、されるではなく人として一緒に過ごし共に共感できる為にコミュニケーションを取ったり、出来る作業と一緒にしたり、利用者様との関わりを築いていくように努めている。又、言葉遣いや接し方に注意し対等な関係にならない様声かけにも工夫している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気軽に来苑して頂ける環境作りや話しやすい雰囲気作りを心掛けています。そして、現状を報告すると共に昔話や家族様との関わりについて話を聞かせて頂いたり、行事等にも参加していただき、コミュニケーションを多く取るように努めている。又、日々の状況において些細な事や問題点等があれば随時報告をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも、近所の方や親戚の方等が来苑しやすい雰囲気作りをしている。又、利用者様も来苑されるのを心待ちにされている。そして、帰られるときは一緒にお見送りをして頂いている。外出時には家族様にも声かけし同行される機会を設け楽しく過ごして頂けるよう配慮している。	入居前からの友人がホームに来訪し、利用者は一緒にお茶を飲み、自由に過ごしています。職員は、利用者の馴染みの関係の継続を支援しています。家族の協力を得ながら、教会への礼拝や行事へ参加している利用者もいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの身体的状態や、内面的なことを把握し座席を考慮している。又、落ち着ける場所を確保し不安や寂しさを感じないように、コミュニケーションを取ったり、レクリエーションや作業を交えて交流を図り楽しく過ごして頂ける様支援行なっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も家族様がいつでも来苑できるよう、又近くまで来られた時等、立ち寄れる雰囲気であったり、相談等を受けられる体制作りをしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションを大切にし又、安全に配慮しながら希望や意向を聞き、家での生活で馴染みのある物を持って来て頂いたり、生活習慣を考慮し、モニタリング、カンファレンスで検討し家庭的な雰囲気の中で過ごして頂けるよう支援行なっている。	担当職員制により、利用者や家族の意見を把握し、一人ひとりがどのように暮らしたいか記録に残しています。食事や入浴など日々の関わりの中から、利用者の思いを聞き取り「気づきファイル」に記入し、会議等で情報を共有しています。意思疎通の困難な利用者の方に対しても、家族や利用者の表情などから思いを推測しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個別記録内にフェースシートが綴っており生活歴や暮らしぶりが記入されている。全職員が共有する事が出来る。そして、日ごろより利用者様や家族様とのコミュニケーションにより、より一層把握するように努めている。又、連絡ノートにより職員間で情報交換行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の体調等に合わせて昼寝や台所のお手伝い、散歩等をして頂いている。毎日二回バイタル測定を行い利用者様の状態の把握に努めている。又、職員間で情報の共有を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のモニタリング、三ヶ月に一回カンファレンスを行っている。問題が生じた時は随時カンファレンスを行い、必要に応じて家人、ドクター、ナースも同席して頂き改善できるよう、検討を行っている。そして、三ヶ月に一回サービス計画書を作成している。</p>	<p>介護計画は、3ヵ月ごとの見直しを行い、家族に計画の説明を行った上で同意を得ています。担当制を取り入れ、利用者一人ひとりの暮らしの状況を把握しています。炊事、洗濯、掃除、買物、好きなこと、興味、趣味など詳細をシートに整理することで情報を共有し、日々のケアに繋いでいます。望む暮らし、できること、支援があればできること、生活歴なども観察や家族の協力を得て、把握しています。情報をもとにサービス計画を作成し、利用者家族の了解を得て、実施しています。ケアの内容について定期的にチームで話し合わせ、支援についての評価が行われています。</p>	<p>入居後、新たに得られた情報は、利用者のフェイスシート等に加筆されてはいかがでしょうか。また、記録物が業務別でシートに記載されており、外出や入浴、排泄などの状況や支援内容が把握しにくい状況となっているため、利用者ファイルに整理することで、全体像が分かりやすくなるよう、記録を整理することが望まれます。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録に日々の状況や特変時又、ドクター、ナースの指示があれば詳しく記入している。勤務職員の交代時の申し送りには伝達を行い、連絡ノートにも記入し全職員が情報共有できるようにしている。そして、問題点や気づいたことがあればカンファレンスや会議のときに検討し改善できるよう見直し、介護計画に繋げている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じて家族様に提案したり又、意見を聞きながら職員間でその人らしい生活ができるよう話し合い、お試し期間を設け様子を見ながら新しいサービスを取り組むように勤めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等において作業レクに参加して頂いたり、ボランティアを活用して楽しいひと時を過ごして頂いている。又、近隣の理髪店に行かれたり個別的に外食に行かれる。そして、近隣保育園児との交流も行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に二回、法人内のドクター往診にて利用者様の状態を報告し指示を頂いている。又、家族様の意向に沿って外部の医療機関を受診される。状況に応じて職員も同行し適切な診察を受ける事ができるよう支援行なっている。	入居時には通院や受診の方法について家族に説明を行い、重要事項説明書にも謳い、同意を得ています。家族や利用者の状況に応じて、かかりつけ医への通院支援も行っています。通院後の情報については家族と話し合いを行い、必要に応じて内容を記録に残して対応しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ナース報告ノートに気づいたことを記入し、毎日の来苑時に個々の利用者様の状況を報告し指示を受ける。又、日頃の医療的な事柄についても相談を行っている。そして、急変時等においても24時間体制で対応して頂けるようになっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>母体が医療法人であり、家族様と相談後早期の対応を行う。そして、医療機関に情報を提供している。その後も、家族様と随時連絡を取り、状況の把握に努めている。そして、退院時看護サマリーにより、カンファレンスを行い支援する。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族様には随時現状を報告している。早い段階でドクター、ナース、職員を交えて家族様の意向を聞き、どのような方針で介護ケアをさせて頂くのか話し合いを行い、職員間で今後のケアについて同じ方向性で取り組み、暖かい介護が出来るように支援行なっている。</p>	<p>開設後以来、終末期を見据えた支援をしています。法人の方針である医療と介護の連携による在宅支援を柱に、利用者家族の希望に応じて、重度化や終末期の支援をしてきました。看取りの方針も掲げ、利用者、家族へ説明を行い、24時間365日の体制を整えながら、医師、看護師、介護者がチーム一丸となり支援をしています。職員も浴槽やトイレなどの設備面での課題を抱えながら、利用者のできることを支援し、最期までその人らしく生活ができるよう取り組んでいます。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内部研修や消防署の救命救急講習を受け、又全職員に伝達研修も行っている。応急処置、初期対応のマニュアルも職員の目の届く所に掲示して発生時に備えている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月一回の会議で火災時についての対応を繰り返し説明し認識できるようにしている。年二回防災訓練を行い地域の方にもお知らせをしている。又、備蓄品も準備している。そして、夜間時は近隣に住んでいる職員がすぐに駆けつける体制を取っている。災害時の連絡方法や避難場所等も掲示している。	消防署の指導を受け、年2回以上の避難訓練を実施しています。職員に消防署のOBがおり、日頃より防災への意識を高めています。防災訓練では利用者も参加し、ベランダへの移動、非常階段を使用しての避難、夜間を想定した訓練を実施しています。消火器やスプリンクラーが設置され、災害対策マニュアル、職員の連絡網なども作成し、災害に備えています。また、水や缶詰などの備蓄、おむつや懐中電灯なども準備しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけや接し方等、目上の方に対する言葉かけを行い、気持ちよく生活して頂ける様又、不快感を与えないように努めている。そして、対応が間違っていないか職員間で見直し注意している。	個人情報保護や虐待防止について学習会を実施しています。「セルフチェックシート」による挨拶や言葉遣い、利用者への対応など自己点検を行い、一人ひとりの気持ちを大切にしたりさげないケア、できることを引き出すケアを心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	利用者様がどの様にしたいのか、意向を聞けるような声かけを工夫したり、又買い物に行かれたとき、表だしにくい方には選択できるように支援行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の体調や状況に応じてフロアや居室にて安楽に過ごして頂けるよう、臨機応変に対応している。又、希望や訴えがあれば散歩、買い物に同行出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々、利用者様の意向を聞きながら一緒に服を選択できるよう声かけを行っている。介助を要する方には毎朝、ホットタオルにて顔を拭いて頂いたり、口紅、乳液を使用される様声かけを行っている。毎月、訪問理美容の方が来苑され様子を見ながら利用されたり苑外の美容室へも行かれるよう支援行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの食事状態、形態に合わせて時間や器を考慮して提供している。週一回、お楽しみメニューの日を設けたり、外食の機会を作り食欲も湧き、雰囲気も楽しんで頂ける様支援行なっている。又、食事の準備や後片付けにも、職員と一緒にできるようにしている。	開設当時は、利用者と一緒に調理や盛り付け、配膳をしていましたが、車いすでの利用者も増え難しい状況です。しかし、その中でも、食後の食器洗いや片付けなどできる利用者には、可能な範囲で見守り、役割を担ってもらっています。朝食は、和食、ホットドックやサンドイッチなど一人ひとりの好みに応じて提供しています。昼食、夕食の食材は、業者から配送されますが、ユニットごとに調理をしています。日曜日の夕食は「お楽しみメニュー」の日となっており、お寿司やお肉など利用者の好みに応じて献立を作成し、買物に行っています。食事の摂取量が少ない利用者には、サツマイモやカボチャの補食を行うなど、栄養にも注意を払っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量をチェック表に記入し個々の利用者様の状況を職員がそれぞれに把握出来るようにしている。又、摂取できにくい方はミキサー食や水分にとろみをつけたり、そして家族様より好みの物を聞き、より多くの物が摂取できるように支援行なっている。又、ナースにも報告している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、介助又は見守り、声かけにて口腔ケアをして頂いている。歯ブラシ、舌ブラシ、ガーゼによる清拭等、個々に応じたケアを行っている。毎夜、義歯洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を記入し、日々一人ひとりの排泄パターンをチェックし、トイレ誘導の時間を考慮しトイレにて排泄出来るよう失禁予防に努めている。又、夜間リハビリパンツ使用されているも、昼間布の下着を使用されたり、夜間のみPトイレ使用されたり個々に応じたケアを行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけを行うことで、自立に繋がるよう支援をしています。布やパッド、リハビリパンツなど、一人ひとりに合ったおむつや排せつの支援を心がけています。重度になっても座位が可能であれば、できるだけポータブルトイレを利用し、トイレでの排泄ができるよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便剤に頼らず、牛乳やヨーグルト、バナナジュース等を提供し、フロア内を歩いて頂いたり、毎食前にラジオ体操をして頂く。トイレ時には腹部のマッサージをし、自然排便できるよう取り組んでいる。又、随時ナースに状況を報告し指示を頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週三回の入浴日は決まっているが、一人ひとりの体調やタイミングを考慮し、午前、午後を分け希望に沿って入浴して頂いている。又、再度夕食後の希望があれば様子を見ながら入浴していただき、穏やかにそして、安眠される様支援行なっている。	利用者の状態や一人ひとりの希望に応じた入浴を支援しています。2日に1回の入浴を基本としていますが、希望により、毎日入浴している利用者もいます。車いすの利用者も多く、身体機能が低下する中、必要に応じて2人介助やシャワー浴等を行っています。体調により入浴が困難な場合には、清拭や足浴などの支援もしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態によって入眠時間を考慮し、その人のリズムに合わせている。居室の温度、照明を調整し又、様子を見ながら排泄の誘導、確認を行い安眠に繋げている。そして、昼間、フロアでソファにてゆったりと休息を取られたり、体調を考慮して居室にて短時間の昼寝をして頂くようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方薬の説明書を綴りいつでも見れるようにしており、又職員室には利用者様の服薬されている薬の表が貼ってあり、変更時書き換え全職員が把握出来るようにしている。又、症状の変化がある場合、ドクター、ナースに報告し指示を頂く。そして、全職員に伝達できるように徹底している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>週に一回、皆様のリクエストにより好きな食事ができるようにしている。ボランティアの方により歌や踊り等の催し物をご覧になり楽しんでいただいている。塗り絵の好きな方の為に色々な材料を用意したり、又それぞれに似合った家事を手伝って頂ける様、声かけし張り合いのある余暇を満喫して頂ける様支援行なっている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>外出行事を企画し、その日の体調にも考慮し社会見学、喫茶店、おすし屋、大型スーパー等に行かれる。家族様にも声か卦をし有意義な時間を過ごして頂いたり、絆も感じて頂ける様支援行なっている。又、希望に応じて随時、散歩に同行し四季を感じて頂いている。</p>	<p>花見や外食などの行事以外にも、日常的に近隣の花屋やスーパーへの買い物、グループホーム周辺への散歩などに出かけています。家族の来訪時には、玄関先まで見送り、外気に触れる機会をできるだけ作り、気分転換を図っています。車いす利用の方も多く、一人ひとりのペースや外出の興味が異なるため、個別での対応をしています。散歩時には、利用者の様子をみながら下肢の筋力を維持できるように、歩けるところまでは車いすを押し、疲れたら車いすに乗るなど、外出の気分転換と併せて、機能を維持できるように働きかけています。また、自身の足で歩けるよう筋力維持のために、同法人内のリハビリスタッフの協力を得ながら、運動等の指導も受けています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族様理解のうえ、お金を所持されており職員も把握している。そして、買い物に行かれたときは自ら支払われる。本人の希望を尊重し、自己管理できるよう支援行なう。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者様の要望があれば電話口にて話をされ、しっかりと要件を伝えられる。電話番号も書きとめておられる。又、年賀状は個々に出来る方法で記され送らせて頂いている。そして、お手紙が届いた時は了解のもと読んで聞いて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、共用空間の掃除、週一回の居室掃除の徹底を行い、又随時汚れがないか確認して気持ちよく過ごして頂けるようにしている。又、気温にも注意し、フロア内には季節感のある飾りや利用者様の作品や行事の写真を掲示して、家庭的雰囲気を作り居心地良く生活出来る様配慮行っている。	格子戸の玄関を開けると下駄箱があり、そばには靴を履くための椅子が置かれています。明るく開放的な玄関には、大輪の菊や鉢植えが置かれ、季節を感じることができます。リビングは広く開放的で、大きなテーブルが置かれ、利用者は自由にテーブルの周りに座っています。対面式のキッチンがあり、リビングから調理の様子を見ることができます。壁には利用者の作品や写真が飾られています。廊下は車いすの往来が可能な広さで、壁には手すりが付けられ、利用者が自由に移動できるよう、椅子の配置も工夫しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う人同士、近くの席に座っていただけ、会話も弾み楽しい時間が共有できるよう、又居室にて会話できる雰囲気作りを行っている。そして、フロアにてソファがあり、ゆったりと座って落ち着けるスペースを用意している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある家具やミシン、置物を持ってこられ、又居室内に家族様の写真を飾って落ち着ける空間作りや居心地良く過ごせる様工夫している。そして、家と同様、お布団、ベッドの使用を考慮し安眠に繋げている。家族様が来苑された時は、居室にてゆっくりとくつろげる時間を持って頂いている。	居室の入口には、一人ひとり手作りの表札を掲げ、暖簾を垂らしている利用者もいます。室内は明るく、洗面台とベッド、クローゼットが備え付けられており、荷物の整理ができるスペースがあります。椅子やテーブル、タンス、テレビ、仏壇など可能な限り持ち込みは自由です。利用者は、家族の写真やカレンダー、絵画などを飾っています。職員も、体調の変化から1日中ベッドで過ごす利用者が他の利用者に関われるようにベッドの配置を工夫したり、布団での生活を支援するなど、利用者とともに安心して過ごせる環境作りに向けて支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所が解り易く夜間照明で安全に移動できるようになっている。また、Pトイレを設置し転倒予防に努め、排泄の自立に繋げている。		